

神経伝達関連分子に対する抗体による精神症状の発現機序に関する基礎的研究

1. 研究の対象

東京科学大学医学部病院において実施される「神経伝達関連分子に対する抗体による精神症状の発現機序に関する臨床的・基礎的研究」(承認番号:M2000-1866) について同意し、登録された患者さんのうち、研究の試料の二次利用について拒否の申し出がない方を対象とします。

2. 研究の目的・方法

研究の目的は、自己抗体の種類と精神症状の対応を明らかにし、自己抗体を有する患者が精神症状を発症するメカニズムを明らかにすることです。

方法としては、「神経伝達関連分子に対する抗体による精神症状の発現機序に関する臨床的・基礎的研究」(承認番号:M2000-1866) について同意し、登録された患者さんから採取した血清を用います。また、東京科学大学バイオリソースセンターに保管されている既存血清も使用します。この血清も同意のもとで採取されてバイオリソースセンターに保管されているものです。この血清は本研究で二次利用され、東京科学大学と武田薬品工業株式会社の共同研究として行われます。収集された試料の一部は、東京科学大学外にある武田薬品工業株式会社湘南研究所(神奈川県藤沢市村岡東2-26-1)にて使用されます。

研究の実施期間は研究実施許可日から2030年3月31日です。
本研究は、武田薬品工業株式会社が資金を提供して行われます。

この研究は厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守って実施されます。本研究では、血清および診断情報のみを使用し、診療や検査で得られた内容(性別・年齢・既往歴・発症年齢・内服薬等)、患者さんのお名前、住所といった個人情報を使用しません。また、研究結果の発表時にも個人情報は使用しません。

本研究の実施にあたっては、東京科学大学の利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。また学会や論文の発表でも研究費について公表し、透明化を行います。利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合の良いものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われたいのではないかなどの疑問が第三者からみて生じかねない状態のことを指します。

3.研究責任者・連絡先

研究代表者：

塩飽裕紀

東京科学大学医学部病院 精神科（精神行動医科学）

テニュアトラック准教授

〒113-8519

東京都文京区湯島1-5-45

電話：03-5803-5673（ダイヤル）

（対応可能時間 平日 9:30～17:00）

武田薬品工業株式会社研究責任者：

功刀章義

武田薬品工業株式会社 リサーチ ニューロサイエンス創薬ユニット

〒251-8555

神奈川県藤沢市村岡東2-26-1

Mail：akiyoshi.kunugi@takeda.com

4. お問い合わせ先

研究への参加を希望されない場合やご質問は主治医に直接お申し出いただくか、下記へご連絡下さい。研究対象者の求めに応じて試料・情報の利用を停止できます。

東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

電話：03-5803-4547

（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）